

コラム 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による鬼怒川決壊における土木研究所の技術支援

平成 27 年 9 月 10 日の関東・東北豪雨により利根川水系鬼怒川堤防で発生した堤防決壊において、土木研究所では、国土交通省からの要請を受け、決壊翌日 11 日の早朝から土質・振動チームの 3 名を地盤工学の専門家として現地に派遣し、国土技術政策総合研究所河川研究部の職員とともに、被災状況の確認を行いました。

現地調査では、堤防決壊箇所の越流の痕跡、洗掘の状況、土質状況、基礎地盤等を確認し、現地の状況について報道機関を通じて情報発信を行いました。

また、調査結果を踏まえて、被災原因の究明、復旧工法の検討のために必要となる調査等について専門的見地から技術的助言を行い、その後の詳細な被災調査計画や復旧に貢献しました。

さらに、被災原因の特定と復旧工法の検討のために国土交通省が設置した鬼怒川堤防調査委員会(委員長:安田進東京電機大学教授)に委員として参画し、被災原因の特定、決壊による状況変化等に応じた復旧工法をまとめることにより、被災地の復旧に寄与する事ができました。



写真-1 鬼怒川で発生した堤防決壊
(提供:関東地方整備局)



写真-2 堤防決壊の原因究明や復旧工法の検討
等のための技術支援



写真-3 決壊箇所周辺の痕跡水位、基礎地盤、堤体
の土質構成等の確認



写真-4 報道機関等への情報提供